

第 125 号
2026 年 (令和 8 年)
8 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次	特集……………	2
	行政視察……………	4
	採決の結果……………	6
	主な議案……………	7
	一般質問……………	8
	議員研修・議会のうごき ……	11
	編集後記……………	12

特集

多世代が集う憩いの場



▲スタッフのみなさん



特集

宇野議員・村上議員が聞く

地元の人・学生・観光客が

笑顔で繋がる Mio Cafe Takehara

多世代が集う憩いの場



▲店内の様子

Q どのようなコンセプトのカフェですか？

「Mio Cafe」とは、イタリア語で「私のカフェ」という意味を持っています。さらに、「M（みんな）」「i（いつでも）」「O（おいで）」という温かい思いも込められており、社会福祉法人的場会在運営する、地域に開かれた居場所」をコンセプトにしています。

世代や立場を問わず、誰もが気軽に立ち寄れる場所を目指しており、店内にはケアマネジャーの相談窓口も併設されているため、日々の困りごとを気軽に相談できるのが特徴です。また、竹原駅前商店街に人の流れを生み出す「入口の拠点」として、観光客と地域の方々が繋がりを作る場所でありたいと願っています。

Q 店内にある『竹原マップ』にお客様のコメントを集めようと思ったきっかけは何ですか？

竹原には観光ガイドには載っていない、地元の方だからこそ知っている魅力がたくさんあります。

観光で訪れた方の目線から、地元の私たちが気づけなかった竹原の魅力を教えてもらうこともあります。

お客様一人ひとりの「お気に入り」を集めることで、スタッフ自身も知らなかった竹原の新たな姿が見えてくるだけでなく、お客様の会話が弾むきっかけにもなっています。訪れるたびにこの地図が育っていくのも、楽しみの一つです。

お話を聞いた人
向田 時典さん



▲人気メニュー 桃とミルクのかき氷

Q 特に人気のあるメニューや、地域ならではの食材を使ったこだわりのありますか？

人気メニューは、東広島市福富町の自然農法牧場「Cadore(カドーレ)」が手がけるジェラートやチーズケーキで、なかでもワッフルジェラートが特に好評です。
また、同じ社会福祉法人の仲間である瀬戸田「ボナプール」のはっさくやレモンを使ったソーダも人気で、この夏からはフラッペの提供も始めました。

Q これからMioカフェを、どんな場所にしていきたいか、今後の展望を教えてください。



▲ボードゲームイベント

開店にあたっては、駅前商店街、竹原市、経済産業省をはじめ、伴走支援に携わった企業や大学など、産官学と地域の方々が協力し、コンセプトづくりからデザインまで多くの力を寄せてオープンすることができました。
今後はその期待に応えるべく、さらに世代を超えて人と人が繋がれるよう、イベントや交流の機会を増やしていく予定です。
町並み保存地区を訪れる観光客やインバウンドのお客様が商店街に立ち寄るきっかけを作り、街全体の賑わいに貢献することを目指しています。
の場合が大切にする「WELL-BEING(心豊かな暮らし)」の姿勢をカフェという形で体現しながら、地元の方にも遠方の方にも「また来たいくなる場所」であり続けたいと考えています。

Q お店を開く上で『居心地の良さ』として特にこだわっている部分はどこですか？

電車やバスの待ち時間に利用される方も多く、初めての方でもふらっと入りやすいよう、外から店内の様子が見えるオープンな外観にこだわっています。
店内は木や土のぬくもりが感じられる落ち着いた雰囲気、ゆったりとくつろぎたい方にも心地よく過ごせる空間を意識しています。
また、近年増えている海外からの観光客にとっても、言葉が通じなくても安心して自然体でいられるような雰囲気づくりを大切にしています。



▲和菓子作りイベント

総務文教委員会行政視察

- 出席委員／堀越委員長 村上副委員長 道法委員 大川委員 川本委員 高重委員
●日 程／5月20日～22日

●余市町に学ぶ特産品を核とした地域振興 《北海道余市町》

竹原市と交流都市提携を締結している北海道余市町を視察しました。同町では、ワインを核とした地域振興施策を実施しており、自治体連携によるプロモーションや若い世代へのワイン文化の普及、醸造環境の高度化や関係人口創出に向けたプラットフォーム整備を推進しています。

ワイン産業の成果は顕著で、ふるさと納税額約19億円のうち約3億円をワインが占め、子育てや教育、産業支援などで市民に還元されています。今後は食とワインの高付加価値化や、受入態勢の整備による*「ガストロノミーツーリズム」を展開予定とのことでした。

本市でも、地域の特産品を活かした持続可能な地域振興や財源確保に繋げる施策を提言してまいります。

※ガストロノミーツーリズム

その土地の気候や風土が育んだ食材、歴史、伝統が生み出す「食文化」に触れ、味わうことを目的とした旅行スタイル



●ニセコ町でのこども参画のまちづくり 《北海道ニセコ町》

ニセコ町では「子どもも大切な市民」という方針のもと、小中学生が行政に参加する「子ども議会」や「まちづくり委員会」を熱心に行っています。

活動は多彩で、人気ゲーム「マインクラフト」での未来の町設計や防災マップ作成、学校給食の企画など、子どもたちの柔軟な発想を実際の施策に反映しています。さらに「子ども議会」では町長らに直接質問を行い、街灯の整備や公園の遊具復活など、具体的な成果も生まれています。自分たちの声で町が変わる成功体験は、郷土愛と自分で考える力を育てています。

「難しい行政用語の分かりやすい説明」や「中学生の参加促進」などの課題も共有いただきました。子どもの真っ直ぐな視点は、大人が気づかない地域の宝や課題を教えてください。本市でも、子どもたちが主役となり「自分ごと」として地域に関われる仕組みづくりに、今回の学びを活かしてまいります。



●千歳防災学習交流センターそなえーる 《北海道千歳市》

近年、デジタルが重宝される中、災害時における目視での確認や視認性等の面においてはアナログも重要との説明でした。

また、体験型の避難シミュレーションでは、団体行動と単独行動ではかなりの差が出ることが分かり、より現実に近い体験をすることができました。



民生都市建設委員会行政視察

●出席委員／下垣内委員長 今田副委員長 蕎麦田委員

●日 程／5月27日～29日

●障がい者千五百人雇用事業について 《岡山県総社市》

岡山県総社市が推進する「障がい者千五百人雇用事業」について、行政視察を実施しました。本事業は、障がいのある方が働き、生きがいを持って安心して暮らせる地域社会の実現を目的に開始されたものであり、条例制定、企業支援、就労支援体制の整備など、全国的にも先進的な取組として注目されています。

総社市では、平成30年に「障がい者千人雇用推進条例」を制定し、数値目標を明確に掲げることで、市民や企業に対し、障がい者雇用の重要性を強く発信しています。条例制定後は、企業の理解促進や雇用意欲の向上が顕著であり、行政・企業・福祉団体が一体となった支援体制が構築されたとの説明がありました。

総社市の取組は、障がい者雇用を福祉政策にとどめず、産業政策、地域活性化政策として位置づけ、数値目標と伴走支援を組み合わせる実効性を高めている点が特徴です。障がい者が地域の一員として活躍できる環境づくりを進める上で、多くの示唆を得る視察となりました。

●森林環境譲与税の活用について 《岡山県新見市》

新見市は、森林ビジョンを策定され、「森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現」のため、次の取組をされています。

①森林整備では、間伐や主伐、再造林による齢級構成の平準化などにより、多様で健全な森林環境の保全・創出を図り、森林境界の明確化をはじめ、ICT技術や高性能林業機械等の活用によるスマート林業の取組を推進されています。

②木材利活用では、森林資源の循環利用を促進するため、公共建築物等の木造・木質化、未利用材等の木質バイオマスの利用促進、広葉樹資源の利用促進などにより、新見産材の需要拡大を図られています。

③担い手策では、補助金などを整備され、林業の魅力発信等による新規林業就農者の確保、森林教育や新見産材を使用した木育の推進による市民意識の醸成などにより、新見市の林業を担う人材の確保・育成を図られています。

本市においても、新見市の取組を参考にしながらも、生活道沿いの古木の整理など、市民生活向上のための取組をできることから始めていくことが大切だと思います。



●住民主体のまちづくり事業について 《岡山県美咲町》

住民主体のまちづくりの取組と成果が注目されている岡山県美咲町を視察しました。美咲町は岡山県の中央部に位置し、人口12,000人ほどの町です。美咲町の町政運営の基本方針は地域の強みを改めて見つめ直し、人と人との繋がりを深め、知恵と工夫によって新たな価値を創り出すために賢く挑戦することです。

目指すものは、子どもから高齢者まで誰もが安心して自分らしく暮らし続けられる町、若い世代が希望をもって働き、安心して子育てができる町、高齢者が生きがいを持ち地域の担い手として活躍できる町とのことです。その目標の実現のために始めたのが町民主体のまちづくり「小規模多機能自治活動」です。

町を13の地域にエリア設定し、それぞれに「まちづくり協議会」を設立して、住民が積極的にまちづくりに関与し、まちづくりを推進しています。

地域課題の洗い出し、住民参画意識の醸成、未来計画の策定などで「自分たちの未来が明るいものになるよう取組を進めることを心がけている」とのこと、竹原市において学べき事柄が多くあると感じられた視察となりました。



●令和8年第2回定例会 議案概要・採決結果

令和8年6月16日～令和8年6月26日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	村上	蕎麦田	下垣内	今田	山元	高重	堀越	川本	大川	道法	吉田	宇野	松本	議決結果
報告第4号	令和7年度竹原市一般会計繰越明許費繰越計算書について	令和7年度予算のうち令和8年度へ繰り越した経費について報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
報告第5号	令和7年度竹原市一般会計事故繰越繰越計算書について	令和7年度予算のうち令和8年度へ事故繰越した経費について報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
報告第6号	令和7年度竹原市下水道事業会計予算繰越計算書について	令和7年度予算のうち令和8年度へ繰り越した経費について報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
報告第7号	竹原市税条例の一部改正について	地方税法の一部改正に伴う竹原市税条例の一部改正の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第8号	竹原市国民健康保険税条例の一部改正について	地方税法施行令の一部改正に伴う竹原市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分について報告するもの	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第9号	竹原流通センター株式会社の経営状況について	竹原流通センター株式会社の経営状況について報告するもの		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
議案第26号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 石本進 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(石本進 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第27号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 井上美津子 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(井上美津子 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第28号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 祐本征武 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(天内達也 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第29号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 宮崎信之 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(宮崎信之 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第30号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 渡橋昭二郎 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(渡橋昭二郎 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第31号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 赤坂佳折 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(赤坂佳折 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第32号	竹原市農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	竹原市農業委員会委員中 土居民喜 委員は、令和8年7月14日をもって任期満了につき、その後任委員を任命しようとするもの(土居民喜 氏)	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第33号	工事請負契約の締結について	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（4期工事）の工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの	総務文教	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	工事請負契約の変更契約の締結について	（仮称）賀茂川学園整備工事（その2）の工事請負変更契約を締結することについて議会の議決を求めるもの	総務文教	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第35号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	竹原市社会福祉法人等指導監査専門員の報酬の額を改めるもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	竹原市税条例の一部を改正する条例案	地方税法の一部が改正されたことに伴い、公的年金等受給者の扶養親族等申告について対象を拡大することなど必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	竹原市印鑑条例の一部を改正する条例案	出入国管理及び難民認定法等の一部が改正されたことに伴い、在留カード等と個人番号カードを一体化した特定在留カード等により多機能端末機での印鑑登録証明書の交付を受けることができるよう必要な規定を整備するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第38号	竹原市介護保険条例の一部を改正する条例案	介護保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、介護保険料の減免について、市長が認める特別な理由があることを公簿等により確認することができる場合には申請によらずに行うことができるよう必要な規定を整備するもの	民生都市建設	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	竹原市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例案	地域再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の一部が改正され、地域再生計画に係る事業者の認定期限が延長されたことに伴い、必要な規定を整備するもの	総務文教	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	令和8年度竹原市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ186,918千円を補正するもの	総務文教	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第8-1号	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第8-2号	地方財政の充実・強化に関する意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第8-3号	本郷産業廃棄物最終処分場に係る県の指導・監視体制の強化及び市民への説明責任の徹底を求める意見書（案）	地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの	省略	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

… 主 な 議 案 …

議案第40号 令和8年度竹原市一般会計補正予算（第1号）

●園芸用施設・設備導入等支援補助金

- ・内 容／物価高騰等の環境変化に影響されにくく、収益力の高い農業経営の実現に向けて、農業者の経営発展の加速化を図るため、農業者が行う園芸用の施設・設備の導入・改修等に必要となる費用の一部を支援する。
- ・質 疑／対象事業者3者に対し、どのような生産性や収益性の向上を見込んでいるのか。
- ・答 弁／今回の助成は、物価や燃料費の高騰による経費負担を抑えることを主な目的としている。具体的には、既存ビニールハウスの自動巻き上げ設備の整備や燃費効率の良いヒートポンプ式エアコンへの更新などに対して助成を行うものである。なお、本事業には補助上限が設けられており、事業費の半分は事業者自身が負担する制度設計となっている。

●かき養殖生産持続支援金事業

- ・内 容／養殖かきの大量へい死の影響を受けている漁業者の来年度以降の水揚げ量確保のため、かきの再生産に向けた作業に要する経費等へ支援する。
- ・質 疑／本事業により、どの程度の生産回復を見込んでいるのか、市内の養殖業者の経営改善にどう繋がっていくのか。
- ・答 弁／これまでも市独自のかき筏修繕支援として1台あたり14万円や、県の稚貝垂下連導入支援として1台あたり50万円、10年間の利子補給など、3つの緊急対策を講じてきた。今回の事業は、これらでカバーしきれなかった部分への追加支援である。生産回復の具体的な見込みとしては、事業者によって被害の影響率は異なるものの、補助金を活用した再投資を促すことで、従前の生産水準まで回復・経営改善できるよう支援していきたい。

●地域活性化イベント事業

- ・内 容／竹原市の夏の風物詩である「たけはら夏まつり花火大会」が物価高騰により開催困難となっているため、補助金を増額することにより開催を実現し、市内外からの来場者による地域活性化及び住民の地元愛の醸成を図る。
- ・質 疑／追加補正となる100万円の積算根拠は何か。本当にそれだけの費用が必要なのか、事業者の自主努力の余地も含めて精査されているのか。
- ・答 弁／申請時点では例年通りの予算で実施可能と見込んでいたが、その後の物価高騰等により追加支援が必要と判断した。今回の100万円は大会継続のための「上限額」としての位置づけであり、今後は主催である観光協会に対し、自主財源の確保や経費圧縮の努力を求めつつ、公費支出をできる限り抑える方向で、積算の内訳を厳密に精査・協議していきたい。



いまだ よしお
今田 佳男

●将来のまちづくりに「縮充」の考え方を ●「竹原市立学校適正配置計画」について



質問 岡山県美咲町が進める「賢く縮むまちづくり」は、人口減少が進む自治体において有効なアプローチとされています。参考にしませんか。

答弁 市長 美咲町の取組は、公共施設の再編や集約化を進めることで、生み出した財源や人的資源を将来のまちづくりなどにつなげていく取組であり、人口減少時代の自治体経営の参考になると認識しています。

本市も、必要な行政サービスを持続的に提供するため、公有財産マネジメントを推進しており、先進事例を参考にしながら、本市の特性や財政状況に応じた取組を進めます。

行政課題の多様化に対応するためには、事業見直しを行うなど、これまで以上に実効性のある事業の「選択と集中」を進める必要があると考えています。

質問 美咲町のように地域運営組織を活用し、住民参加型で公共施設再編を進める考えはありませんか。

答弁 市長 住民参加型で公有財産マネジメントを進めるには、施設の利用者や地

域住民の皆様の理解と協力は不可欠であり、行政だけでなく地域と課題認識を共有しながら取り組んでいくことが重要と考えています。

質問 現行の小中学校適正配置計画の中間評価をどのように行っていますか。

答弁 教育長 現行計画は、令和5～9年度を期間としています。

大乗小学校の竹原小学校への統合、（仮称）賀茂川学園の設立に向けて取り組んでいます。

現時点において、取組は概ね順調に進捗していると捉えています。

質問 最も重要となる「教育の質の確保」をどのようにお考えですか。

答弁 教育長 一定規模の集団の中で豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることを目指す教育が展開できるよう、地域の方と一体となって、教育活動の推進を図ってまいります。



●DMO（観光まちづくり機構）について ●学校給食と乳幼児期における給食支援について



質問 市長は公約に「DMOの解散」を掲げ、今年度は「観光まちづくり事業を精査し、効果を再検証する」と示された。単に予算規模が大きいことだけが精査の理由なのか、また、「精査」とは組織の解体や縮小を指すのか、それとも観光事業そのものの見直しを指すのかを問う。

答弁 市長 DMOへの職員派遣の人員費負担など予算規模が大きいことへの対応や事業全体の再構築・透明化を図るため精査した。これまでの「認知度向上」の基盤は整いつつある。仮に市直営とした場合は、職員の業務負担や人員費の増加、専門性の低下、地域事業者との関係リセットの懸念があり、寄付額減少など地域への波及効果が弱まる可能性がある。最もリスクが少なく効果が大きい体制を検討した結果、本市としては今後引き続きDMOに業務を委託することとした。

質問 令和8年度からの給食費完全無償化において「質と量」の維持・向上が重要と考える。本年4月から開始された給食業務の民

間委託による成果と子どもたちの満足度を高める取組、児童生徒の意見や残食状況の把握について問う。

答弁 市長（こども園） 自園調理を継続し、4月から民間委託した。厳しい衛生監査や研修の充実でスキル向上が図られ、課題だった調理員の採用難や急な欠員に対しても他施設からの応援配置など柔軟な運営により改善した。

答弁 教育長（小中学校） 地元産物を使った給食などで満足度を高めている。分量は国の基準に基づき決定しているが、個人の体格差等は各クラスで担任が配膳の配慮を行っている。アンケートは未実施だが、学校訪問での聞き取りや毎日の残食データに基づき調理方法の工夫に活かしている。

《反問権について》市長から「無償化と質の低下の因果関係が全く理解できない。」と反問が出されました。私は物価高騰による食料変更のリスクなど現場の懸念や保護者の声を示し、「アンケートの実施」をもって市民の声を聴くように強く求めました。

まつもと
松本すすむ
進

●河川の水源汚染から、市民の命を守る 市政について



質問 田万里川の有機フッ素化合物など、水源汚染源の特定や水質検査の実施、東広島市や広島県との協議はされましたか。

答弁 市長 広島県の報告では、発生原因は特定できていませんが、竹原市域で57mg/L、上流の東広島市域は77~200mg/LのPFOS等が検出されています。現状では事業場からのPFASの排出規制がなく、法令等に基づく検査や指導ができない大きな課題があります。

質問 竹原市水源保護条例制定の取組はどのようにになりますか。

答弁 市長 産業廃棄物処分場の市内への立地を規制する内容の条例制定を準備しており、その実効性を高める罰則規定を設けるため、関係法令との整合性や法的安定性を確保する協議・調整に半年から1年程度の期間を要する見込みです。

質問 JAB業者が展開検査しないで違法に産業廃棄物を処理している実態の確認をしていますか。

その後の取組の経緯や県の対応はどの様になりますか。

答弁 市長 議員から展開検査を実施しないとの指摘の都度、県に速やかに伝えていきます。

県は、法令違反に該当する不適切な処理が判明した場合は産業廃棄法に基づき厳正に対処することと合わせ、昨年4月25日の搬入再開後から現在まで、浸透水等の基準値超過は確認されていませんが、市民の不安な声が寄せられている状況を踏まえ、先月22日に三原市長と連名で広島県に対して、施設の適正な維持管理・監視体制の強化を求める要望書を提出しました。

質問 大仙地区県有地の利活用の要望内容はどのようになりますか。

答弁 市長 広島県から事業予定者の公募に関する事前説明を受ける中で、下流域の水質汚染に市民の強い危機感と不安感が懸念されたことから、本年4月上旬に広島県地域政策局長等に環境保全を配慮した県の対応を求めました。

おおかわ
大川ひろお
弘雄

●活力ある元気なまちづくりについて

- ①人口対策 ②交流人口 ③賑わいの創出
④市民の協力強化 ⑤人材育成



質問 住みよさを実感出来る『活力ある元気なまち』を実現するためには

1. 人口減少対策―竹原市独自のミニ工業団地を造り、防衛産業・IT産業などの企業誘致・事務所・自衛隊などの施設の誘致、合併なども視野に入れておく。

2. 交流人口の増加―訪問税の導入(大久野島の水道送水管など活性化を目指す)・宿泊税を活用(美術館や今井政之記念館などの建設)・瀬戸内クルーズ事業の実施。

3. 賑わいの創出―商品券・ペイペイの充実、イベント補助金の新設。市民館・図書館の建設や魅力あふれる民間商業施設を呼び込む。

4. 市民の協力強化―地域交流センターを核として、官民が一体となっていくまちづくり・デマンドタクシーや福祉バスなど交通の利便性を含めた、住みよさが実感出来るまちづくりを皆で考える。

5. 人材育成―人材育成には、優秀でやる気のある人材を確保するためのテレワークやフレックスタイム制の導入。未来の人材育成に

は、他にはない文化都市・学園都市の構築を目指し、シビックプライドの醸成。人口減対策やまちづくりに対して、平井市長はどのように考えておられるのか伺います。

答弁 市長

1. 企業誘致に関しては、民間の遊休資産の活用を最優先で進め、広域連携を進めるが、合併を前提とした議論を進める考えはない。

2. 大久野島の「訪問税」の導入は、目的や使途が十分に明確でないため、現段階での実施は困難と判断。

3. 商店街活性化は重要と認識している。

4. 地域の活力と賑わいの創出に繋がる施設となるよう取り組む。

5. DXの取組や開庁時間の短縮とあわせ、テレワーク制度の充実やフレックスタイム制の導入について検討。

未来の人材育成にはグローバル社会に資する人材の育成に力を入れ、「文教のまち竹原」に由来する文化や教育の浸透に努める。



- 公設体育館への空調設備設置について
- スポーツ推進係の設置について
- 竹原市スポーツジュニア育成助成事業について
- 相撲競技普及への取り組みについて
- 竹原市共同墓地使用環境整備について
- 校務支援システムの導入について



- 質問** 公設体育館は大規模災害発生時には、避難所となる施設であるので、空調設備を設置するべきと思いますが、所見を伺います。
- 答弁** 市長 公設体育館へ空調設備を設置することについては、様々な課題がある事から常設設備を設置する事は困難であります。現在スポーツクローラを54台購入しており、今後可搬式ヒーターを27台導入する予定としています。
- 質問** 竹原市のスポーツを振興するために、スポーツ推進係を新設することが必要と思いますが、所見を伺います。
- 答弁** 教育長 現在、スポーツ業務は文化生涯学習課が担当しています。生涯学習とスポーツは一体的に業務を進めていくべきものと考えております。
- 質問** 竹原市のジュニアスポーツを振興するために、スポーツジュニア育成助成事業を創設するべきと思いますが、所見を伺います。
- 答弁** 教育長 本市において、スポーツ育成事業を行う事は困難であると考えております。
- 質問** 竹原市は相撲を市の代表的スポーツと位置付けました。今後、市として相撲の普及にどのような取組をされるのか伺います。
- 答弁** 教育長 広島県と連携して、相撲競技普及への取組を進めています。また、「竹原ちゃんこ鍋レシピコンテスト」の開催など各種イベントの開催を予定しています。
- 質問** 竹原市共同墓地のトイレが撤去されているが、再設置する必要があるのではないかと。
- 答弁** 市長 トイレの設置については、設置費用や維持管理費などを総合的に勘案しながら検討を進めます。
- 質問** 市内中学校への校務支援システムの導入目的と導入後の課題などがあれば教えて頂きたい。
- 答弁** 教育長 教職員の負担を軽減し、より質の高い教育の実現を目的として導入しました。一部の操作に時間を要する事態が生じておりますが、教職員が教育に専念できる環境づくりを進めます。



- 不登校児童生徒の健康診断機会の確保について
- 身寄りのない高齢者が安心して暮らせる支援体制について



- 質問** 学校で実施される健康診断は、病気の早期発見や成長・発達の確認を行う大切な機会です。しかし、不登校児童生徒の中には受診できないケースもあり、健康上の異常を見逃すことが心配されます。
- 答弁** 市長 令和6年度の不登校児童生徒58人のうち、全ての健康診断を受診できなかった児童生徒は6人でした。学校外で受診する制度や費用助成はありませんが、健診日程の変更や別室での受診など、個々の状況に応じた対応を行っています。また、わかたけ教室利用児童が健診をきっかけに登校につながった事例もあり、引き続き保護者や関係機関と連携し、受診機会の確保に努めてまいります。
- 質問** 一人暮らし高齢者の増加に伴い、入院時の身元保証や死後事務などへの不安が高まっています。エンディングノートの作成と終活相談窓口や終活情報登録制度の導入など、安心して暮らせる支援体制を推進していただきたいと思います。
- 答弁** 市長 身寄りのない高齢者や頼れる親族がいない高齢者が増加傾向にあることから、相談や支援体制の強化が喫緊の課題となっております。地域包括支援センターや権利擁護支援センターで相談を行っており、竹原市版ライフプランノートを本年10月に発行予定となっております。
- 質問** また、終活情報登録制度は情報連携の一つであり、医療・介護の情報連携や避難行動要援護者名簿など、複数のセーフティネットとして機能することが期待されています。
- 答弁** 市長 本市においても、終活相談窓口の設置や終活情報登録制度の導入について、他市の取組も参考にしながら、慎重に検討してまいります。



令和8年度全国市議会議長会表彰

令和8年度全国市議会議長会の総会において、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績に対して、在職35年の松本進議員、在職30年の吉田基議員、在職15年の山元経穂議員が表彰され、6月16日、議場にて表彰状の伝達式を行いました。



議員研修

●DX研修

- ・日時：令和8年6月1日
- ・場所：市役所3階大会議室
- ・研修事項：DXについて
- ・講師：村田デジタル戦略担当課長
- ・出席議員：村上議員 蕎麦田議員
下垣内議員 今田議員
山元議員 高重議員
堀越議員 大川議員
道法議員

●大崎上島町議会・竹原市議会合同議員研修会

- ・日時：令和8年7月3日
- ・視察研修：広島県立叡智学園、IMAT(微細藻類産業の評価機関)
- ・出席議員：村上議員 蕎麦田議員 下垣内議員
今田議員 山元議員 高重議員 堀越議員
大川議員 道法議員



議会のうごき

4月28日 民生都市建設委員会
5月1日 総務文教委員会
5月13日 神奈川県秦野市議会来庁
5月14日 岡山県高梁市議会来庁
5月20日 総務文教委員会行政視察
(～22日)
5月25日 議会運営委員会
5月26日 京都府亀岡市議会来庁
5月27日 全国市議会議長会定期総会
5月27日 民生都市建設委員会行政視察
(～29日)
6月1日 公共施設ゾーン再整備調査特別委員会
議員研修会(DX研修)
6月11日 議会運営委員会
6月16日 本会議
6月18日 総務文教委員会
6月19日 民生都市建設委員会

6月22日 本会議
議会運営委員会
6月23日 本会議
6月26日 議会運営委員会
本会議
全議員会議
7月3日 竹原市議会・大崎上島町
議会合同議員研修会
7月10日 大阪府八尾市議会来庁
東京都羽村市議会来庁
7月16日 山形県村山地方町村議会
議長会来庁
7月17日 民生都市建設委員会
7月22日 総務文教委員会
7月23日 群馬県富岡市議会来庁
7月24日 議会運営委員会

特集

多世代が集う憩いの場



▲ウインターイルミネーション

《特集後記》

今回取材させていただいた「Mio（ミオ）カフェ」さんは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、心地よく過ごせる空間を目指されています。

木や土のぬくもりがあふれるオープンな店内には、吉名産のレンガを使ったカウンターがあり、JR竹原駅の壁面との美しい統一感が街との繋がりを感じさせます。平日は地元住民の憩いの場、週末はインバウンドを含む観光客で賑わうほか、試験前には高校生が勉強に訪れるなど、多様な世代が思い思いの時間を過ごしています。Wi-Fiも無料で滞在時間を気にせず過ごせるのもポイントです。

人気の和菓子作りやボードゲームといった交流イベントはとても好評で、今後はさらに内容を充実させ、多世代の自然な交流を促していく予定です。また、ケアマネジャーによる相談窓口が併設されており、牧場ジェラートや旬の果物を使用したソング等を味わいながら、福祉や暮らしの相談が気軽にできるのも大きな特徴です。

お気に入りの場所を共有する「竹原マップ」は、観光客と地域住民の会話のきっかけを生み出しています。商店街に新たな賑わいをもたらすMioカフェは、訪れた誰もが「また来たい」と感じる、心豊かな暮らしの拠点として歩みを進めています。みなさんぜひ訪れてみてください。

村上 まゆ子

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube^{JP}

竹原市議会

検索



次回定例会市議会は、9月上旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

酷暑の日々が続いておりますが、市民の皆様におかれましては、暑さ対策には十二分に御留意され、お過ごしいただきますようお願い申し上げます。

平井市長就任6ヶ月余になりますが、早朝から日々分刻みで公務に専念されておられます。

私は昭和57年初当選以来7代の市長に対しては、常に是非の姿勢で議会活動を行って参りました。

平井市長に対しても同様、補助金、委託事業（契約5年間）の検証など、市政発展に向けた様々な意見も申し上げております。

議会が長の追認機関であっては、議会の存在価値はないのであります。

議会と長の基本的関係について、長と議員は住民から直接選挙で選ばれるが、職務の仕方が異なります。長は、補助機関を指揮監督し職務を住民に行うことが基本で、議会は自治体の意思決定を行う長の業務執行を監視する役割が基本となります。

宇野 武則

「広報広聴委員」○委員長 ○副委員長

○村上まゆ子 ○今田 佳男

○蕎麦田俊夫 ○堀越 賢二

○宇野 武則 ○松本 進